

## 活動レポート | REPORT

平成26年日露青年交流事業

### 日本語履修高校生グループ

ロシアの秋休みに当たる11月上旬、日本語を学ぶ高校生グループ51名を招聘しました。東京と京都を訪れ、文化体験や社会見学を通して、日本理解に努めたほか、積極的に日本の高校生と交流して、たくさんの友人を作ることができました。



早稲田大学高等学院にて

#### 【日程】

- 11月 1日～2日 ロシア各地から高校生が到着
- 11月 3日 日本人高校生と都内を散策
- 11月 4日～6日 京都へ移動。府立北稜高等学校訪問、いけばな体験、文化遺産見学など
- 11月 7日 都立北園高等学校、早稲田大学高等学院訪問
- 11月 8日～9日 帰国の途へ

#### 【都内散策と懇親会】

散策も今年で4回目となり、高校生の間では「バスツアー」と呼ばれて親しまれています。原宿、お台場、秋葉原を巡り、グループごとに分かれてロシア語を学ぶ日本人高校生が案内しました。懇親会では、お互いに歌を披露したり、連絡先を交換し合うなどして、交流を深めました。



#### 【京都府立北稜高等学校訪問といけばな体験】

昨年に続き、府立北稜高等学校に受け入れていただきました。歓迎の挨拶のあと、地学と物理学に分かれて、日本人生徒と6限目の授業に参加しました。その後、北稜高校の生徒による学校と京都についてのプレゼンテーション、ゲームや日本の遊び体験で交流しました。



大気圧による空き缶つぶし実験



折り紙、けん玉、書道、竹とんぼなど、初めて経験することばかり！



池坊会館でいけばなを体験しました。

京都では数多くの文化財を見学し、旅館で日本の生活を体験しました。

#### 【都内では、ロシア語を学習している高校を訪問しました】

都立北園高等学校では、音楽と体育の授業を体験しました。早稲田大学高等学院では、学食でお昼ご飯を食べたあと、校内見学で授業に飛び入り参加しました。



北園生による歓迎のデコレーション



三味線の授業



お互いに歌と踊りを披露したあと、《ルチヨク》というロシアの子供の遊びで盛り上がりました。(早稲田大学高等学院)



8日間の滞在を終えて、たくさんの思い出を胸に、それぞれの町に帰って行きました。

#### 【参加者の声】

- 同世代の人だけでなく、たくさんのネイティブスピーカーの方たちと交流しました。今回の旅のおかげで、私は将来の職業と人生を、日本文化と日本語の勉強に捧げたいと思います。
- この旅は、私と、私の将来の職業に大きな影響を与えてくれました。日本の文化、生活そして伝統について多くのことを学びました。このようなプログラムは、高校生にとって、とても必要だと思います。それは、視野を広げてくれ、外国人との交流の経験を与えてくれ、職業の選択に役立つからです。ありがとうございました。
- 日本訪問プログラムはとても気に入りました。一番驚いたのは、私たちに対する人々の態度です。日本はとても美しい国です。風景が素晴らしいと思います。私は、日本に来て、日本文化を知り、沢山の人の人に出会い、新しい友人を得ることができて、とても嬉しく思います。皆さんのおかげで、忘れられない旅になりました。